

サイジヤナル

月刊
26-3・4
第414号

日本サイ科学会 平成 26 年 3 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097 | 中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192 | 北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634 | 関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425 | 九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫 |
|---|--|--|--|--|

四月本部例会のお知らせ

生命の智慧 アーユルヴェエーダ
—アーユルヴェエーダから見る
生命のすばらしさ—

講師 西川 眞知子氏

アーユルヴェエーダはインドで生まれた5千年の歴史を持つ伝統医学です。人間をボディ・マインド・スピリット、真我、環境、五感などの有機的な存在と考えています。今回のセミナーでは、アーユルヴェエーダの基本の五元素論、人間五鞘論、チャクラなどをお話しさせていただきます。実技編では身体や心のデトックス法をご紹介します。アーユルヴェエーダ初心者の方にも楽しくすぐわかりやすいアーユルヴェエーダをお伝えいたします。よろしくお願ひいたします。

◎前半の内容
①アーユルヴェエーダとは ②五元素論 それを問診、脈診、望診で知る ③人間五鞘論 ④チャク

ラとカルマ ⑤アーユルヴェエーダライフスタイル
◎後半の内容

①身体の鞘のデトックス 曲げる、反る、ねじるの基本のポーズと人体は宇宙 お腹に太陽、眉間に月、細胞は星それを輝かせること
②気のデトックス 呼吸法・陰陽バランス呼吸 ③心のデトックス ラジャスとタマス、サットヴァ度を調える ④環境デトックス ⑤真我の性質

※本格的な「アーユルヴェエーダ」の理論と実技を学べる貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘ひして是非ご参加願ひます。

●西川眞知子氏のプロフィール
日本ナチュラルヒーリングセンター代表 アーユルヴェエーダ医療融合協会理事 アーユルヴェエーダ体質別健康美容法と独自の簡単生活習慣改善プログラムを構築し、講演、セミナーおよび健康美容のコンサルティングや商品開発を数多く手掛ける。「生命の科学アーユルヴェエーダ」「これ一冊できちんとわかるアーユルヴェエーダ」など著書多数。 <http://jnhc.co.jp>

◎事務局からのお知らせ

今月は年度替わりですので、「会費納入のお願い」の通知と郵便振替用紙が同封されています。いろいろ出費の多い時期で恐縮ですが、日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりますので、早めのお振り込みをよろしくお願ひ致します。御寄付をして戴ける方は郵便振替用紙にその分を記入し、年会費に追加して、お振り込み願ひます。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 第21回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第24回全国大会発表募集
- ◎ 五月本部例会のお知らせ
- ◎ 関西サイ科学会三月、四月、五月例会予告
- ◎ 平成25年2月本部例会報告
- ◎ 第三八三回関西サイ科学会報告
- ◎ サトルエネルギー学会春の大会
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ 「オーブ」と「イオン・ボール」の形成(一)
- ◎ 動的視覚化法による論理の瞬間伝達法

日時 平成26年4月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

※3月の本部例会はお休みとなります。

第21回宇宙生命研究分科会予告

第6回ヒポクラテス・シンポジウム

日時 平成26年3月30日(日)

13時～18時

会場 品川健康センター第3会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

J R 京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」行

で「新馬場駅前」下車

一般会費 五〇〇円

会員会費 一〇〇〇円(日本サイ科

学会・サトルエネルギー学会・太

陽の会・国際問題研究会・国際ヒ

ーリング看護協会会員)

癒し(heal)は、全体(whole)、

聖(holy)、健康(health)に通ずる

と、アンドリュー・ワイル博士は

述べている。

実際、癒えるとはどういうこと

なのか? 癒しとはなんなのか?

第6回ヒポクラテス・シンポジ

ウムは「癒しのツボ」と題して、癒

しの本質、原点に迫ろうと思いま

す! (世話人 阿久津 淳)

平成26年日本サイ科学会 第24回全国大会発表募集

毎年の重要な行事である全国大

会が、今年も10月に北とびあにて、

開催されます。会員の研究発表+

シンポジウム(テーマは「サイと

天変地異」が予定されておりま

すが、会員の皆様には積極的な発

表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、テーマは

天変地異に関してなくてもOKで

あり、これまでの研究での新しい

発見、現在もしくは近いうちにデ

ータ取りをしてまとめたいこと、

偶発現象(UFO、心霊現象等)

の目撃と原因の推測・解明、様々

なサイ現象の仮説(理論)など「サイ

」に関連することなら何でも結

構ですので、ご自分の考えや研究

成果をまとめて、発表して頂きた

いと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な

内容(200字くらい)をメール、

またはFAX、ハガキでお送りい

ただき、一応審査させていただきます

で、通りましたら8月31日までに

原稿ファイルをメール添付等で戴

きたいと思えます。原稿の書式は

後でお知らせ致します。

五月本部例会のお知らせ

般若心経とサイ科学

講師 岩根 和郎氏

今回の講演では、拙著「暗号は

解読された 般若心経」(献文舎)

を中心として、サイ科学との関係

にまで言及します。拙著は「般若

心経は暗号である」との立場から、

深い瞑想により、現代用語によっ

て読み解いたものです。

暗号であるが故に、決して情緒

的には書かれて居らず、数学のよ

うに極めて論理的に緻密に書かれ

ており、262文字に無駄な文字

は一つも無く、まったく矛盾無く、

見事な全体の整合性を保って読み

解くことが出来ました。

解釈の要となる「空」は実体そ

のものであり、それが人間の精神

性の本質と同一となります。さら

に生命活動を営む環境としての「空

相」が用意され、そこは時間空間

を超越し、善悪を超越した絶対価

値体系であり、諸行無常の存在の

背後にあつて、変化変容を超越し

た存在であることが分かります。

現象の世界は「非実在の世界」

であり、空である「実在の世界」

とは明確に分離されております。

これにより「宇宙モデル」を示し、

そこにサイ科学との接点を示した

と思います。

※「般若心経」を暗号と考え、深く研究した画期的な書籍の内容を、詳しく解説していただく貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●岩根和郎氏のプロフィール

昭和十八年(1943年)二月四日 宮城県仙台市生まれ。

大学では物理学を専攻。国立研究機関において、「視覚」「認識」という医学・工学のフロンティア領域の研究に従事。退官後は「人工知能」と「Web上のパラレルワールド」を実現すべく起業し現在に至る。科学者でありながら、古今東西の哲学、思想、宗教、歴史に精通するとともに精神宇宙を深く探求・解明された希有なる「文化家」。市井に身を置き企業経営者・家庭人として、徹底して「現実主義」を貫いている。

日時 平成26年5月10日(土)
午後1時半～5時
会場 北とびあ9階901会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

関西日本サイ科学会
三月例会のお知らせ

◆ ◆
今ガンを見直す

講師 土橋 重隆氏

日時 平成26年3月15日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
四月例会のお知らせ

◆ ◆
霊感・霊能力について

講師 小林 信正氏

日時 平成26年4月19日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
五月例会のお知らせ

◆ ◆
気で読みとる鬱積感情、
霊障とその治療

講師 橋本 和哉氏

日時 平成26年5月17日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆
平成25年2月本部例会報告

◆ ◆
「疾病を根本から改善する」
新治療法を求めて

講師 宇治橋 泰志氏
I・H・M LLP(国際先端
医療技術有限責任事業組合)
免疫整体「h2c1番」

ガンはいまだに発症の原因がつかめていないですし、また日本の難病も増しております、治療法の全く見えない難病は現在五百種類以上あるといわれています。

「日本の難病」のデータを調べてみますと、1974年10疾患約5万人から始まりまして、2012年現在56疾患約70万人の人々が苦しんでおられます。以上のことから当然のこととして医療費は膨らむ一方で、個人負担や企業負担また国家負担も大変なわけです。

では病気の原因とは何でしょうか？ 一般的には病気は加齢、偏った食生活、ストレス、睡眠不足、悪い住環境などによって、体内環境が悪化して、起こるんだと言われていています。ところが体内環境が悪化すると、次に体内に毒素や疲労、老廃物が蓄積し、血液が汚れてきて、そこで体内共生微生物が異常になり、そして病気が発生する、と我々は考えております。

皆さんはソマチッドというものを聞いたことがありますか？ ソマチッドというのは、体内にいる体内共生微生物のことで、ガストン・ネサン先生がソマチッドと命名したものです。

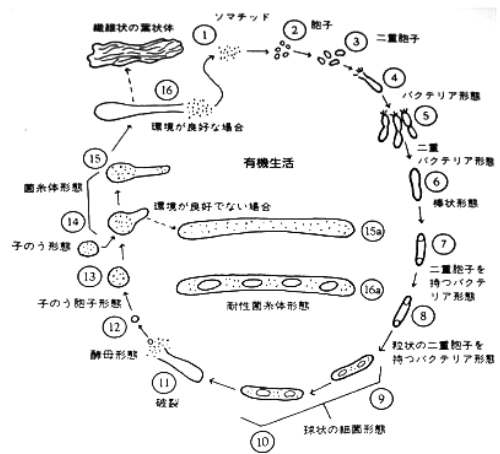
これが私たちの使っている暗視野顕微鏡です。通常の明視野顕微鏡と少し違いまして、強い光源と乱反射を利用して、ミクロの物体を捉えるように工夫しております。

暗視野顕微鏡で血漿の中に見られる小さなつぶつぶをガストン・ネサン先生は「ソマチッド」と名付けました。血液の成分構成としては赤血球、白血球、血小板に加えて、血液学においては未知である微小の有機体ソマチッドがあると考えております。

ガストン・ネサンの理論として、ソマチッドとは

1. ガストン・ネサン（1924～カナダ在住）によって、発見・命名された。
2. ソマチッドはどんな酸の中でも生きられる。
3. 固形になると210度以上の熱でも死なない。
4. 5万レムの放射線でも耐えられる。
5. ソマチッドはエネルギーのコンデンサーである。
6. ソマチッドサイクルは全部で16形態ある。
7. 最初の正常な3形態が健康な状態である。

ソマチッドの16の形態の変化は次の図のようになります。私はネサン先生の一歩の功績は、健康な人は最初の3形態があつて、重い



病気の人はその3形態が少なくて、後の形態が増えるとしたのです。それを判断基準にして、ネサン先生は健康にするにはソマチッドを小さくすればいいのではないかと考えて、樟脳などを使う方法を考えました。

私たちも最初はネサン先生の理論を使っておりましたが、少しおかしな事が出てきたところで、ドイツのギュンダー・エンダーレイ先生の理論を知りました。エンダーレイ先生は同じものを「プロテイト」と名付けたのですが、エンダーレイの理論と

プロテイトとは

1. ギュンダー・エンダーレイ（1872～1968）によって、発見・命名された。
2. 細胞よりはるかに小さな生きた有機体である。
3. 生命活動に不可欠なもの。
4. 血液の環境が悪くなると、プロテイトは赤血球や細胞内に避難する。
5. 血液の環境が悪化すると、プロテイトはバクテリア相となつて血漿中に出現する。
6. 原始相プロテイトやバクテリア相の出現は、病原性の判定に用いられる。

我々は最初はガストン・ネサン博士の使われていた位相差顕微鏡で血液中のソマチッドを見ていたのですが、その後ギンダー・エンダーレイン博士の使われていた暗視野顕微鏡では、プロテイツットのいろいろな形態がよりはっきり見えるようになりました。

さらにエンダーレイン先生の理論の方が、より論理的でもあるので、我々は現在はエンダーレイン先生を重要視しております。

エンダーレイン先生はチフスの研究者であつたのですが、その研究中に血液の中に動く微小な物体を発見し、いろいろな論文を調べたのですがなかなか分からなかつたときに、生物学者のペシャンブ博士の理論に行き当たりました。

ペシャンブ博士（1816～1908）はバースツール博士と同時代の研究者で、現代医学とペシャンブ・エンダーレイン博士の病気発生に対する相違点は

1. 現代医学の思考（バースツール・ウイルヒョウ説）↓病気は病原菌により外襲されることで発生する。（単形態性理論）

2. ペシャンブ・エンダーレイン理論↓病気は体内環境の悪化に

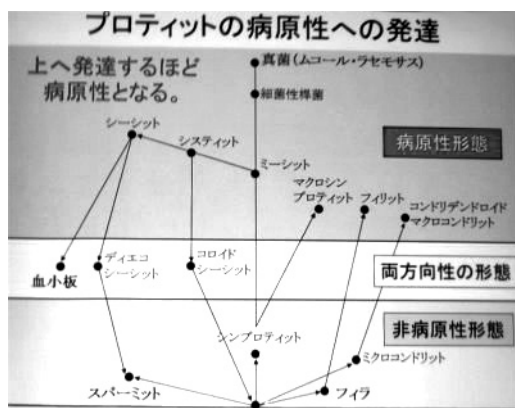
より発生する。（多形態性理論）

当時バースツール博士とペシャンブ博士は大激論をしていたのですが、バースツールが家畜の炭疽病をワクチンで治したので、皆バースツールの方が正解だということ、ペシャンブ博士の理論は葬り去られました。



エンダーレインの理論をもう少し説明します。

プロテイツットは0・01ミクロン（千分の一ミリ）の極微小な存在であり、プロテイツットの病原性への発達は、次の図のような形態の変化をします。



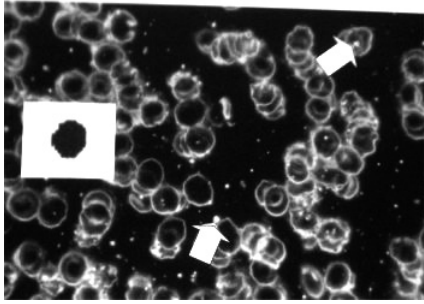
右図の上方の形態に行くほど病原性が強くなり、上方に行く一番大きな原因は酸性になっていくことです。

体内共生微生物については下の表のように、非病原性形態と病原性形態に分かれ、その中の3つの形態は次頁の写真に示されます。

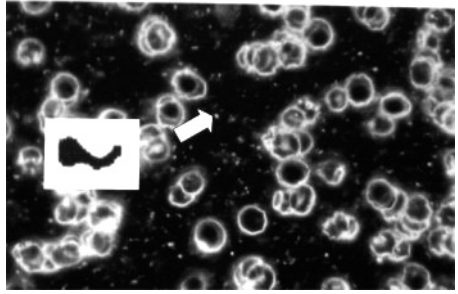
オタマジヤクシのような「スパームィット」は、これがあることに より高い病原性形態を劣化させることができます。「マクロシンプロテイツット」から病原性が始まり、「スポロイド・シンプロテイツット」になると、病原性が高くなります。

| 血液細胞 | 非血球 単球 顆粒球 リンパ球 | ○ ● | ◎ |
|--------|---------------------------|-----|---|
| 非病原性形態 | プロテイツット フィラ | ○ | ● |
| | スパームィット ※画像①参照 | ◎ | |
| | シンプロテイツット ミクロコンドリット | ○ | ● |
| 病原性形態 | マクロシンプロテイツット※画像②参照 | ◎ | |
| | マクロコンドリット | ◎ | |
| | スポロイド・シンプロテイツット ※画像③参照 | ◎ | |
| | フィリット | ◎ | |

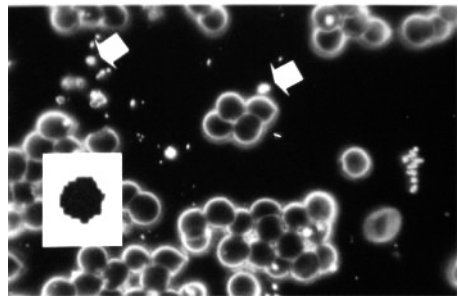
②マクロシンプロティット



①共生生物(スパーミット、シンプロティット)

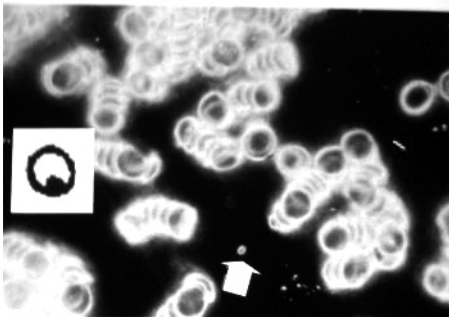


③スポロイド・シンプロティット



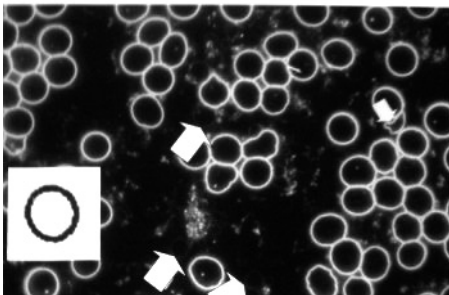
さらに強い病原性形態+両方向性形態は以下のような表と3つの形態の写真になります。
病原性が高くなると核が見えるようになり、どんどん大きくなり最終的には細菌(結核菌、ぶどう球菌等)になります。すなわち結核は外からうつるだけでなく、中の環境によっても出てくることとなります。血小板は3から7つの核をもった状態のもので、血液凝固になくはならないものです。「コロイドシート」「ダイエコシート」は崩壊によって、スパーミット等を放出して、環境を元に戻す役割があります。

④ミーシート

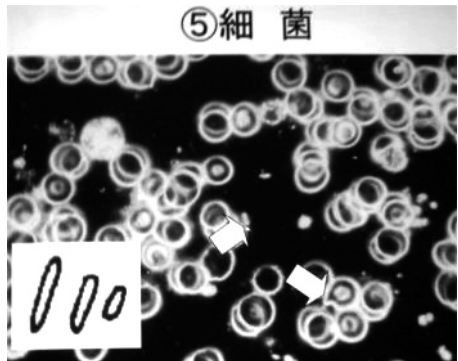


| | | | |
|---------|-----------------------------|--------|--------------------------------|
| 強い病原性形態 | ミーシート ※図④参照 | ○ | 細菌の一次胚細胞 |
| | システィット | ○ | 多結合の核を持った球形細胞 |
| | シーシート | ○ | 数個の核を持った球形細胞 |
| 細菌 | ※前位⑤参照 桿菌又は球菌形態 | 〃〃 | ムコール・ラセモサスの細菌形態 |
| | a) 結核菌 | 〃 | アスペルギルス ニガーの細菌形態 |
| | c) 連鎖球菌 | ●● | 細菌の頂点 |
| | ぶどう球菌 | ●● | |
| 両方向性の形態 | 血小板 | ♁ | 3から7の核を持った血小板、血液凝固 |
| | コロイドシート ダイエコシート ※図⑤参照 | ○ ⊗ | 崩壊によってプロティットやスパーミットを放出する(調整因子) |

⑥コロイド・シーシート



⑤細菌



私は、両国の「免疫整体(一)一番」で「AWG (Arbitrary Waveform Generator) 治療器」を使いながら、エンターテイン理論に則って、その効果を確認しております。

電子治療器の歴史は米国のロイヤル・レイモンド・ライフ博士(1888~1971)から始まりますが、それからさらに研究を進めたのが日本の松浦優之博士(1936~)で「AWG治療器」を發明されました。

松浦先生は動物の精子を使って、1~1万ヘルツの周波数で徹底的に実験を重ね、二十五、六年の基礎実験の上でその中から約百種類の有効な周波数を突き止めました。「AWG治療器」を日本と海外で特許申請をし、医療治療器として申請しましたが、許可がおりずに迫害を受けたりしました。その後富山薬科大学や韓国のハンソ大学等で追試を行って、有効性が実証され、現在では日本の厚生労働省と米国の食品・医療品局からも医療用具として、認可されております。※後半は元日大物理学教授であった星先生を初めとした、いくつかのケーススタディが報告された。

第三百八十三回関西日本サイ科学会研究集会報告

宇宙意識文明の幕明け

講師 松尾 みどり氏

(ヒーリング・アーティスト)

とき 平成25年11月16日
ところ 大阪科学技術センター

松尾みどり氏は長崎県出身。

幼少の頃より神秘体験や臨死体験を重ね、高次元の意識体とコンパクトし、「意識の科学」の研究に取り組む。

心の働きと、遺伝子や免疫力との関連についての健康セミナーを開くなど、健康アドバイザーとして、人生を豊かに生きる歓びを伝えるメッセンジャーとして全国各地で講演活動を開催中。

対談共著「宇宙意識への扉」中央アート出版社(廃刊)。

かつて宇宙より地球に降り立った人類は、永い時をかけて数多くの文明を残してきましたが、時と共に3次元の地球ルールの争いの中で、霊性は地に墜ち、「宇宙の法

則」は忘れ、苦しみと怖れの4次元の負のサイクルを生み出してしまいました。しかし、今本来の光体である宇宙意識に目覚める時がきました。これまでの「怖れ」に基づく行動パターンと構造を知れば自分のDNA及び体細胞に異変が生じ自ら生み出した四次元の幻影すら脱却できます。その方法について私自身の異次元体験から学んだ方法をお伝えします。



私は子供の頃から人間の生死にとても興味がありました。また人間同士の争いや喧嘩を虚しく思い、自分は何故ここにいるのかその理由を知りたいと思っていました。

15歳の時、交通事故による臨死体験を通して初めて別次元があることを認識しました。リアルな自分自身は今しがた起きたばかりの事故の現場を上から眺めていたのです。全てがスローモーションでコマ送りのように見えた記憶があります。静寂の中でふと人間的感情がよみがえると一瞬にして肉体の中に戻りました。

また、結婚して間もない頃のある夜の事でした。1人で部屋にいと突然室内に光が出現し、渦を巻きながら私に向かってきました。私はその光に包まれて垂直に吸い上げられ、宇宙の中をかなりの時間飛翔し続けました。

しばらくして銀河に浮かぶ巨大な宇宙船内のサッカー競技場型の大きな会議場に降り立ちました。スタンドには人型の銀河人たちが着席しています。天井はプラネタリウム型の巨大なオーバルスクリーンとなっていて、そこには私たちの住む太陽系の運行状況が映し出されています。そこにいる人々は皆テレパシーで会話をしていました。

銀河人が私達と同じ人型なので、私は思わず「何だ、地球人にそっ

くりだわ」と思った途端、テレバシーで「地球人は私たちの遺伝子が組み込まれているから似ているのは当然なのだ」と言う返答が返ってきました。

やがて映像が地球にクローズアップすると、全員がスクリーンに意識を集中しました。するとそこでは地球上で同時に存在するパラレルワールドが進行している姿が映し出されていました。

宇宙では地球時間は全く通用しません。地球人は過去↓現在↓未来へと時間を直線的に考えますが、宇宙では過去も未来も「いま」に集約されています。

また地球人は他者との比較で価値を決めますが、宇宙では全て自由意思による選択で決定します。体験を通して学びながら深い智慧に至るのです。

地球人のルールは宇宙のルールとは全く異なっている事を宇宙船内で感じ取りました。このように私は10代で臨死体験、20代で宇宙体験をし、そして40代で過労と医療ミスが重なり死亡体験をしました。周囲の反応をよくに死ぬ瞬間はとて心地在りよく、眠りに引きずり込まれるように意識がなくな

っていきました。その間、生気は足元から抜け殻のように胸腺に向かって体内を上昇していきます。

全ての生気は3次元と4次元のゲートである胸腺のチャクラを通り、首の後ろを抜けて脳幹を経て松果体から頭頂を抜けていきます。出る瞬間に「ボンッ」という音がしたのを記憶しています。

肉体から魂が抜ける時には霊体も一緒にです。

肉体を抜けると周囲は光に満ちています。その光の渦の中を通り抜け、やがて広く美しい空間に出ます。ガイドがずっと傍についてくれているような安心感があります。結果的に地球にまた戻ってきましたが、それも光に包まれて戻ってくるので死後の世界は何も怖くはありませんでした。

宇宙意識の世界には不安も恐怖も病気もありません。穏やかな光に包まれた平和な世界です。しかし人間は自らを責め罪悪感を背負い恐れを創造し、妄想と幻想の中に自らが棲みついていくのです。そのカラクリに気づき、手放せば周波数が変わり現実を変えることができます。

私たちの魂は元より宇宙の高次元から光体として透明なアストラル体をまとい、地球の物質で作られた3次元の肉体に入り込みました。光次元(5次元)の魂は下の次元を見ることができませんが、3次元の肉眼では4次元や5次元など上の次元を見ることができません。

遠い遙かな昔、ある宇宙人たちは3次元の美しく碧い水の星の地球を見つけ、この地球に住み地球人になることを決めました。肉体を持ち地球上で生活するには遺伝子の操作が必要でした。元来、宇宙人として12本持っていたDNAを2本に減らすことで、やっと人間になることができたのです。その後、自分たちの故郷の星を思い出して帰りたいと思いつつも、遺伝子情報を自ら減らしてしまつた人間たちは還る方法を思いつけず、ただ虚しく寂しくなると無意識に星を見上げてしまうのです。

また、次元を下げ周波数を下げてしまった人間は、かつての星にいた存在たちと交信したくとも遺伝子のDNAが不足している為と思うように交信が出来ません。そ

の苦しきから逃れる為に、地球時間をベースとした時計やカレンダーを作り、宗教による観念を生み出しました。それぞれの民族は自分たちの「神」を創り上げて祈りを捧げるようになります。

地球人の作り上げた地球ルールによる「宗教」では正邪、善悪、優劣、勝負、被害者と加害者、成功と失敗などの2元的な世界で自分や他者を裁くことが繰り返され、正しいことをした人は死後天国に行き、悪いことをした人は地獄へ落ちると教えられていきました。比較・競争・闘争・破壊という無限のループは恨みのエネルギーとなり、集合的な負のアstral界(霊界)を造っていきました。その結果、人間が4次元世界を作り出してしまったのです。

人間の意識の向上心を妨げているものは地球人が作り出した独自の解釈による生き方のルールでした。この考え方で自らを呪縛し、元の宇宙へ還ることが出来ずにいたのです。こうして地球への輪廻転生が繰り返されてきました。

しかしこの闇のアstralルートをクリーニングすることで、私たちは再び5次元の意識へ進めます。

意識を広げる事で、これからの地球の人々は200年の寿命を得ることが可能です。

特に日本には、今回の生でこの負のエネルギーによる輪廻転生のサイクルを終わりにしようとレムリアやアトランティスから生まれ変わった魂たちが数多く存在します。日本は昔から世界でも珍しく宗教や信仰の自由が認められ、海外の習慣や考え方もわりとすぐ取り入れられる傾向にあります。

3万年前の日本はユーラシア大陸と繋がっていましたが、やがて幾度にもわたる気候変動や海面上昇、大陸の移動などで現在のような海で囲まれた地形になりました。日本は世界でも珍しく深い山や谷がある自然に恵まれ、何と言っても美しい四季があり水が豊富です。私達が見慣れたこの日本の紅葉をわざわざ海外の人々が見物にやっています。この自然環境が日本人の美的感覚を持った穏やかな誰しをも受け入れる国民性を造ったのです。

また豊かな自然や山林に恵まれた日本人は山や川や海にも神が宿ると考えてきました。日本には山

が多く富士山は霊峰と見なされています。

縄文時代には様々な高度な建築技術があったようで、三内丸山遺跡では縄文人の優れた技術の痕跡を見ることが出来ます。ではその子孫である現代の日本人はどうすればよいのでしょうか？

私たちの生き方について大事なものは、自らの直観に従い言葉にする事。そしてその内容に沿った意志を持ち実際に行動に移すことです。つまり直感(直観)↓言葉(言霊)↓行動(意志)を貫くことです。

例えば不言実行と言う表現がありますが、言葉が発しなければ3次元世界では現実化しません。有言実行には言霊が宿り、音の世界があつて初めて物事は成就するのです。地球人の多くは誰かが決めたことに対して「〜ねばならない」「〜してはいけない」「〜するべき」等々と他者や自分に強制します。そこには自らが「〜をしたい」という。自発的な表現がありません。また、忍耐して何も言わずに黙殺しては、宇宙はあなたがそれを選択したと受け取ります。従って、黙殺した結果が現実になるの

です。

有言実行とは他者に向かって宣言する事ではありません。自分の心からの思いや意志を言葉にする事での自分への誓いです。自分自身が発した言葉を自分の耳で聞き止めると全身全霊が振動します。エネルギーを発します。それとは逆に他者に何かを強制したり、暴言を吐いたりするのは本人の恐怖心の裏返しです。とても気が小さく他者の評価を気にするあまり、自分の存在をアピールしようとしている証なのです。

言葉はエネルギーの表現体です。私たちの心も体も全てが光のエネルギーとしての存在です。その状態によってエネルギーの振動率が変わってきます。それをバイブレーションと言います。心の中に不安や恐れがあればエネルギーは小さく弱くなつていきます。

「米」という字は「光」を現わします。妖精や精力などの「精」は「青いエネルギー」を意味します。それが健康な状態の私たちの体を覆っているオーラです。気が病むと病気です。

本来自らが持つ宇宙エネルギーの流れを、誤った思考や感情でブ

ロックしている時に病気として教えてくれます。病気は決して人間を死に追いやるものではありません。気づきを与え思考のパターンを「地球ルール」から「宇宙ルール」へと変換するチャンスとして、現在の4次元の状態を3次元の肉体に映して出しているだけなのです。また様々な炎症は自分の内側に激しい怒りや憤りを抱えている証です。

特に自分自身が言葉にして本音を表現できなかった事へのパッシングです。地球人として生まれて来る人生の前半は、過去世で処理できなかった感情パターンをカルマとして清算する期間でもあります。自分の周囲の人間環境の中で自分の内側に潜んでいた否定的な感情を浮上させる触媒として、人間関係におけるトラブルが発生するかもしれません。

特に身近な母子関係や夫婦関係は、同じカルマを持つ者同士が清算の為に生まれる前に約束を交わし地球に転生しています。あなたが相手のどの言葉や態度に反応しているかを静かに眺めてみると、自分が何を恐れていたのかがよく見えてくるでしょう。もしあの時、

自分の気持ちを素直に表現できていたら、こんなに怒りが出てくることはなかったはずだ。「相手にわかって欲しい」「相手にわからせたい」という気持ちが相手への反発心を生み出します。それは「相手にわかってもらいたい」という相手依存症にかかっているサインだからです。

自分と向き合い、自分が悔いなく行動できたことを納得できればそれでいいのです。あとは清々しい気持ちになり、スッキリと他者を恨むことも無くなります。こうしてカルマは清算されていきます。自分と考えが違う人、気になる相手は、あなたのカルマを引き出す役割を担っている人たちです。同時にあなたも他人のカルマを引き出す役割を演じています。お互いにカルマ消滅の為にお互いのよく似た周波数で引き寄せ合っています。人間が作り出した神々に自分の人生を委ねるのではなく、自分の内なる神、つまり宇宙意識に気づきましょう。宇宙意識の直観に従い自らの気持ち言葉をにしてハッキリした意志を持って行動するのです。自分の内なる声に心の耳を傾けましょう。

宇宙には比較がなく、あるのは自らの意思で選択するだけ。そして体験し、その結果から学びます。やがて学んだことは智慧になり「直観」へと変わります。学ばない人は愚痴、後悔、恨みと闇の世界を作り上げるのです。この智慧を増やすほどに、失われたDNAが復活します。これが未来を拓くのです。高次元宇宙には悲しむ人も病人もいません。自分の人生や生き方を、人工的に作り上げた神々や占い師や他者に委ねるような魂はいません。

直観は「宇宙の図書館」でもあり、自分の内にあります。自身自身を信じてチャレンジする事です。行動に移して体験する事により失われた宇宙DNAのコードを取り戻し、他者の事も他者の喜びや気持ちもよくわかるようになります。自分と他者は元来、一つの大きな光の中から別れてきた魂であることがわかってきます。

私たち人類はいま、究極の選択を迫られています。あなたの心を占拠しているものは何でしょうか？宇宙意識文明はあなたの高次元の意識を通してのみ、この世界に顕在されます。全ての人と共に智慧

を出し合って、新しい文明社会を顕現させていけることを私は願っています。

☆ ☆

人類の魂は宇宙からきたこと。日本人は宇宙意識の直観に従いそれを言葉(言葉)にして行動に移すことが大事と示して頂いた。

当日の参加者は会員14名非会員26名合計40名でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

◆ ◆
◎サトルエネルギー学会
春の大会のお知らせ
(日本サイ科学会協賛)

春の大会テーマ

真我への目覚め!

～女性の直観に始まる～

日時・平成26年4月20日(日)

9・45 ホール開場
10・15 開演 18・30 終演予定
講演・実演者

鈴木秀子 宮崎貞行 柏田穂積

AKI 中野三智子 原久子

越川禮子

18・00～18・30 パネルディスカ

ッション パネラー 参加講師陣

会場 (財)修養団SYDホール

料金 前売りチケット

サイ科学会会員 六千円

一般予約 七千円

◆ ◆
【振込先】お申込みと同時に左記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振替振込み先

口座番号 00170-1-196569

加入者名 サトルエネルギー学会

申込受付 協賛会員3月10日～

一般3月20日～

お問合せ サトルエネルギー学会

電話 03・5730・6450

E-mail information@subtle-eng.com

URL http://www.subtle-eng.com/

大会運営委員長 井上 恒弘

◆ ◆

る。はじめに留意すべき問題は「水」との親和性であろう。つまりこの時考慮すべき第一要因は微小水滴とオーブの関係である。古来からの民俗学や伝承によると、霊(スピリット)という字は、「雨の巫女」の意味があるという。つまり、オーブ(たまゆら)は降雨に関して出現する、と言われている。

一般には、オーブは簡単には写らない。研究者は、最初は、様々な試行錯誤を試みたのち、「降雨とオーブ」の問題にたどり着く。結果として、筆者らも経験したが、「雨の降り始めに写り易い」ことになる。上記の大気電気学のシンプソン(1927)によると、雷雨の降初め(前半)は陽イオンを含んだ雨が多く、後半は陰イオンを含んだ雨が多い。豪雨の時は、殆どすべての雨は陽(+)に帯電している、という。陽イオン帯電の雨は、上記の大気陽イオン・ボール(球の内部が陽、表面は陰)に相当すると考えると、雨の降り始めに「たまゆら」が写り易

いことになる。豪雨の時は、雨滴の大部分が陽(+)に帯電している様子なので、上記の空間電界の影響により、大気イオン・ボールが形成されやすく、オーブが写り易いことになる。他方、Webサイトに発表された川崎利男氏の「スプレー噴射水によるオーブ形成」等によると、豪雨の降り始めに撮影された雨滴像は、殆ど総てがオーブであった。また降雨が止んだあとは、暫くの間は、オーブが写らない、等が同種の理由で説明可能となる。筆者らの結果の一例を写真1(No, 0096)、2(No, 0137)に示した(写真省略)。小雨の降り始めに撮したものであるが、殆ど総ての小円像はオーブ(たまゆら)であった。

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

これまで会員の皆様からご要望がありました、本部例会のビデオ映像の販売が、4月の新年度から開始されることになりました。

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることができます。

価格 1本につき 三五〇〇円
(送料含む)

現在は左記の8本です。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシツクレコード)から見た世界の仕組みと私たち—あなたは誰なのか—」

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年6月本部例会

講師 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」

◎2013年7月本部例会

講師 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」

◎2013年9月本部例会

講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーロー
ジョン・オブ・ゴッド」

◎2013年10月第23回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」

◎2013年11月本部例会

講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究
—超能力研究の最前線—」

◎2014年1月本部例会

講師 小川博章氏

「魂の発見」

メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201〇年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。
2週間以内に発送致します。

Email office21@psjmail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。

殆ど総ての雨が陽 (+) に帯電している (1927、シンプソン) という。これらを説明するものにシンプソン説がある。通常、水滴は表面 (外側) は陰、内側は陽の2重層になっている。水滴が分裂するとき、外側は陰の電位を持つ陰イオンとなり、残りの内側は陽イオンの水滴になる。陰イオンの水滴は上昇し、陽に帯電した水滴は下方へ偏り、その為には雷雲の下側は陰に帯電する事になる、という。

(2-4) 水の破碎による場合

滝や噴水などの水しぶきの周りでは、陰イオンが多い。レナード効果と呼ばれるもので、摩擦等が原因となって静電気を帯びた水を、破碎する時に、大気がイオン化する。

3. 大気イオン・ボールの形成

電子と原子核から構成されている原子に対して巨大なエネルギーを加えると、電子は原子殻の外側に飛び出して自由電子と陽イオンになり、電子を得た原子は陰イオンになる。この現象を電離といい、この状態をプラズマという。プラズマ中にミクロンオーダーの微粒子 (埃、エアロゾル) を入れると、電子が表面に付着して、大きな負イオンの様に振る舞う。大気中に微粒子が多量に存在すると電子、陰イオン、陽イオンが混合した荷電粒子群 (大気イオン群) が出来る (以上の詳細は、日本大気電気学会の報告等を参照)。

大気イオンは大気の電離作用によって生成するが、陰と陽のイオンの再結合やエアロゾル (埃) への付着等を経て次第に消滅する。大気イオンの寿命はエアロゾル濃度の影響を受け、数十秒～千秒 (高濃度ほど早い) 程度である。しかし、宇宙線は何時も降り注いでいるので、大気イオンの生産は何時も継続している。大気中には、原子や分子サイズ程度の大気イオン (帯電粒子) もあるが、分子サイズよりも遙かに大きな大気イオン $\{1 \times 10^{-2} \mu\text{m}\}$ 、例えば、氷晶、水滴、個体微粒子などのエア

ロゾルがある。それらは風などの環境の影響を大きく受けることになる。

大気陽イオン・ボールは、球の内側に多数の陽イオン群を持ち、外側に電子 (陰) 等を持っているが、全体としては、電荷はほぼゼロ (中和) である。つまり、ボール内にある陽 (+) 電荷の粒子群は、陽 (+) イオンの周りに集まる電子 (-) 等によって、電荷が遮蔽される傾向がある。プラズマの分野ではこれをデバイ遮蔽という。この大気陽イオン・ボールと、空間電界によって形成される大気陰イオン・ボールから成る大気イオン・ボールに意識面を追加したものをオーブ (orb) と呼ぶ。ここに、意識に相当する実体を、我々はPSI-pair群 (素粒子群の物理量表示であるが、可能性を示している) と呼んでいる。またSPI-pair群はサイ (気) の母体でもある。つまりオーブ (orb) 出現は超常現象の一種でもある。

4. オーブ (orb) 形成

意識と体外にある物質が、直接に、相互作用する現象をマクロPK (念力) という。撮影する人の意識と体外にあるオーブが連絡しあっていると判断されるので、オーブ撮影も一種の超常現象であろう。この現象の仲介するのはサイ (気) であり、サイ (気) の物質面の基幹を構成するのはPSI-pair群である。PSI-pair群は電子、陽電子、微細身素粒子等から構成されている。オーブには、核形成前 (中に模様が無い) と核形成成長 (カオス成長、マンダラ模様) があり、核形成条件としてエネルギー一定条件がある (以上の詳細は、「[オーブ] は「パワースポット」にいる、2013、岩波ブックセンター、参照)。

5. 検討と考察

赤外線領域が撮影可能なデジタル・カメラを用いて、電離している薄暗い空間にむけてフラッシュ撮影すると、小球状 (円形) のオーブ (たまゆら) が、ノイズとして写り込んでく

「オーブ」と「イオン・ボール」の形成(1)

佐々木 茂美

1. はしがき

オーブ (orb) とは「たまゆら」のことであり、「あの世とこの世 (霊と物質)」の両方に跨って存在している。「イオン・ボール」とは球形状のイオン集合体のことである。原子に巨大なエネルギーを加えて電離させると陰イオン、陽イオン、電子になる。これをプラズマと言う。ただし、大気を対象にする本報などの場合には、プラズマとは呼ばないで大気陽イオン、大気陰イオン、電子と呼ぶ。本節で問題にするイオン・ボールやオーブの形成には、大気イオンが主要素になっている。そこで、本報では、過去の実験等から得られた諸条件を基にして、オーブ (orb) ならびにイオン・ボール形成のメカニズムを検討する。

2. 大気イオンの生成

ダークマター (暗黒物質) を除くと、太陽や星などから構成される宇宙全体の90%以上はプラズマから構成されており、電磁気学的には、ほぼ中和の状態で存在している。「オーブ」が出現する地球は、厚い空気層 (大気層) に包まれており、そこには何時も中性子線や中間子線等の宇宙線の照射があり、この被曝を受けた結果として、大気の一部は電離している。これらの大気イオンの存在により、大気中に導電性が生じることになる。

大気を電離させる方法としては、(1) 宇宙線、(2) 岩石の放射線、(3) 雷雨などの気候変動、(4) 水の破碎による場合等がある。

(2-1) 宇宙線による場合

はじめに晴天時の場合を検討する。地球全体を取り巻く大気層は、宇宙からの宇宙線照射のために一部が電離していて上層部は陽

(+)、地表部は陰(-)に、常に、帯電している。この為に、地球は電磁気的には巨大な球形・地球コンデンサー (約30万V) として存在している。しかし、実際には、ごく一部の電離のために、上層から下層 (地表) に向けて、極僅かながら電流が流れている。上層部 (高い所) になるにつれて宇宙線が多くなって電離の効果が増大すること、並びに高くなるにつれて空気成分の密度が薄くなるので、イオンの平均自由行程は大になる。これらの結果として、電気伝導率は高さとともに次第に増加する。他方、電界強度は、逆に、高度が低くなるにつれて次第に大になる。地表面近くでは100V/m、程度であるが5km上方では約1V/mになる。これらの両作用の結果として、大気中の電気伝導率は、高度に無関係にほぼ一定値になる。しかし、それらは時間と場所、ならびに季節などによっていつも変動している。

(2-2) 岩石等の放射線による場合

地表面をとりまく大気の導電性は、深成岩としての玄武岩や花崗岩などを介して、地中から放出される放射性物質 (ガンマー線、ラドン等) が、大気中に拡散して大気を電離させ、イオン化させる事により、生まれる。

(2-3) 雷雨などの気候変動による場合。

晴天時には、大気の上層部は陽 (+) に、地表面は陰 (-) に帯電している。厚い雷雲が発生すると、雷雲の上側は陽 (+)、下側は陰 (-) に帯電するようになる。そして、雷雲の下にある地表面は、次第に陰から陽に変化して、陽 (+) に帯電することになる。雨が降ると、雷雨の前半は陽 (+) を含んだ雨が多く、後半では負 (-) の雨が多くなる。しかし、豪雨の時は、

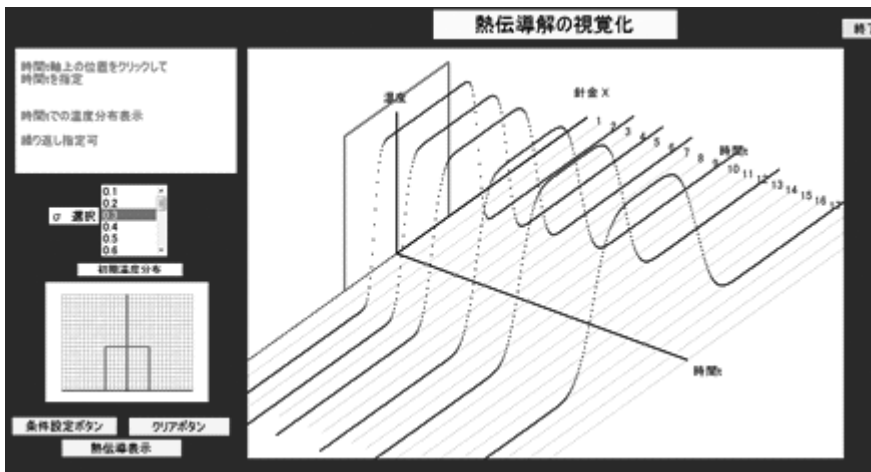


図2 熱伝導方程式解の視覚化

底辺や高さの大きさの指定は、連続的に任意の値の指定がマウスにより指定できる。

5. 事例

次に、本方法論にしたがって作成したコンテ

ンツのいくつかを示しておこう。

図2は、熱伝導の様子を動的に視覚化したものである。初期条件は任意に指定できる。時々刻々の伝導の様子が目で見え、伝導の本質が瞬時に理解できる。方程式からはほぼ不可能である。

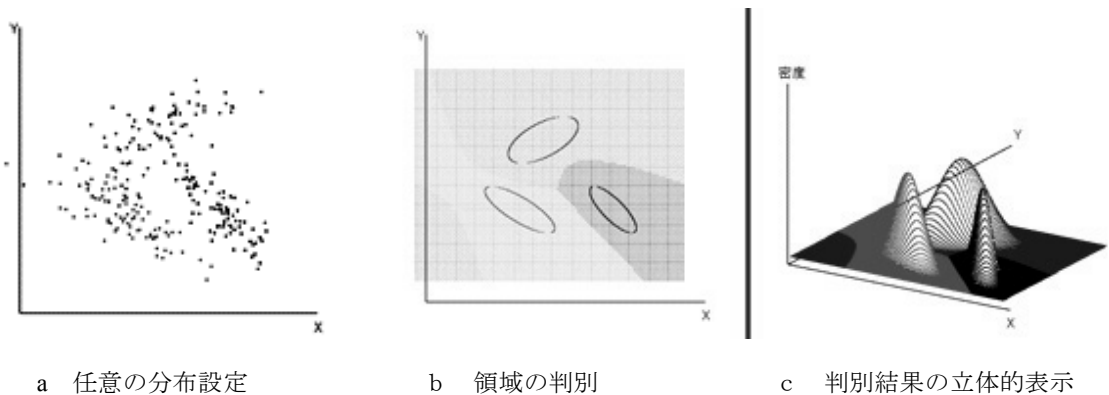


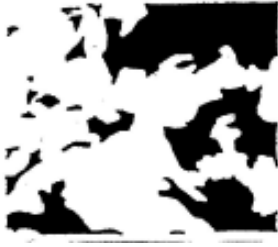
図3 判別関数の視覚化

図3は判別関数を動的に視覚化したものである。判別の概念は視覚的に示されると直ちにわかるほど簡単なものであるが、これを行列を使って数式で示されてもなかなか理解できない。

以上2つの例で、動的視覚化法で難しい内容の意味を瞬時に伝えられることを示した。なお、

動的視覚化のコンテンツ例は、YouTubeを開き hiroto namihira で検索すると30以上が参照でき、そこからHPに行くと数例のプログラムがダウンロードできるようになっている。

参考文献 関英男 “加速学習法” 星雲社 1995.9.1



1つの出来事に対し、その個人ごとの意味は個々の価値座標系を通して異なったものに見える。したがってその伝え方の方法は、どの受け取り手に対しても伝わるような大きな冗長性を持つものである必要がある。冗長度の高い伝達手段は視覚である。

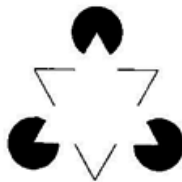
3. 視覚の特徴

視覚情報は他に比べ情報量が非常に多い。俚諺にも“一目瞭然”という。窓の外の景色を言葉だけで伝えることの困難さを想像してみよう。それが一枚の絵で瞬時に伝わる。

視覚の質的特徴としては、次のことが挙げられる。

- (1) 異なったものの中に統一的なものを見る。
- (2) 図の中に、規則性、シンメトリ、簡単な要素を見る。
- (3) 複雑さの中に簡単を見る。
- (4) 変化に敏感 強度の2次導関数を感じ：これは、縁取りを自動的に行うことである。

下の図は、カニツァの三角形といわれるものである。目は視覚の特徴を反映して、実際にはない三角形を感じる。



4. 新しい伝達手段

人の脳はいくつかの断片的な図をつなげて、そこから全体的な意味を抽出するという機能を持っている。悟性と呼ばれるものである。その

メカニズムの解明はできるとしても遠い先の話であろうし、私は謎にとどまるであろうと思っている。誰でも持っているがよく考えれば何故かはわからない。

図の情報量の多さという特徴に加えて図に動きを追加すると、含まれる複数の要素間の因果関係および量的な相互関係という内容の意味には本質的に大切なことを目は一瞬にして理解する。このプロセスを伝達に具体化すれば、論理的な内容を視覚的に伝える新しい方法論になる。

考える方法論は、伝える対象である論理的内容を図にして、それを論理の進展とともに図として展開していくというものである。状態の図化はコンピュータで処理する。すなわち、新しい方法論は、論理自体の視覚化となる。これを動的視覚化法と名付けた。

次の図は、動的視覚化法による任意の円錐の展開図をつくるコンテンツの展開過程の断面をいくつか表示したものである。

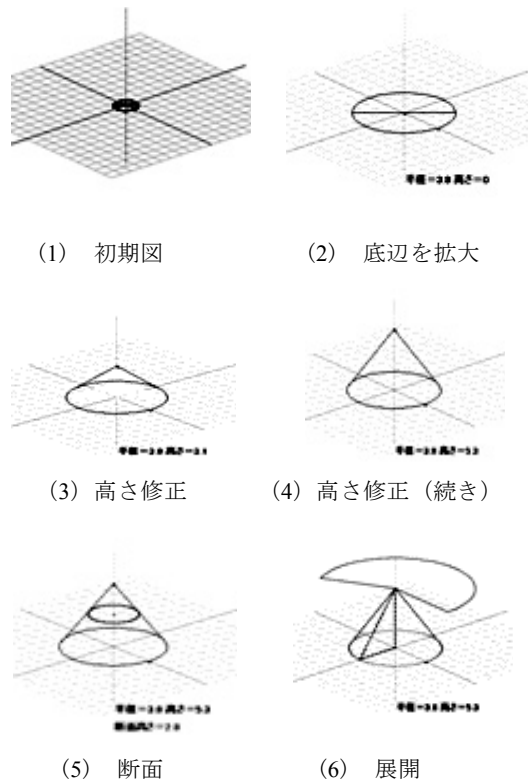


図1 立体展開図



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

動的視覚化法による論理の瞬間伝達法 (加速教育法の系列)

情報工学者 浪平 博人

1. はしがき

いまから40年くらい前のことであるが、関英男先生により加速教育法と名付けられた新しい教育法が提唱され、いろいろな実験を経てその効果が注目されていた。この方法は、ブルガリアで開発された暗示を使う主に語学を対象とする教育方法で、従来に比べて50倍の効果があるとされる画期的なものであった。米国の2人の女性ジャーナリスト(オストランダー、シュローダー)により広められ非常に有名になったものである。

関先生は、この方法を大学における工学教育に活用されて語学教育との違いに気付かれ、加速教育法の重点を記憶の定着におくべきことを示唆されている。今回提案する動的視覚化法はこの流れに沿って内容の“意味”の伝達に焦点を当てるものである。

2. 論理的な内容の意味の伝達について

まず、分かるとは何かについて考えてみよう。数学者の岡潔先生は、度合いの違う“わかる”があることを指摘された。すなわち、形式的に分かることと情緒的に分かることの2段階である。形式的に分かるとは、内容を解く手順を記憶したりあるいは数式展開を忠実に間違いなく追って結論に至るような理解である。もう一つの情緒的に分かるとは、いわゆる“腑に落ちた”

という理解である。頭で理性的に考えなくても、それがごく自然に思えるように深まった理解である。筆者はこの他に、クオリアに達する震えるような感動を伴う理解があると考え。ペテロの大改心などがそうであろう。

つぎに、意味とは何かについての考察に移ろう。たとえ話、ことわざ、都都逸等の判りやすさの理由は何であろうか。それは、それを話す人と聞く人々の文化の背景が共通して物事の解釈の基盤が一致しているからであろう。背景が異なればさっぱりわからない。

個々人について言えば、生まれて現在に至るまでの過程の差を反映して価値観が個々人で異なる。各々の価値観でものごとを測ったものがその人にとっての価値である。個人ごとの価値観の全体を価値座標と呼べば、人が一つの出来事を自分の価値座標で位置づけしたものがその人の価値である。そして、その価値座標系(あるいは視点)は人により異なる。したがって、同じことでも受け取る側に多義性が生じる。それが故に、多くの人に物事を伝えるのが難しいのである。

視点が合わなければ同じものを見ても意味が分らないことを示す例として、次の図を挙げよう。

これはコサック騎兵の図であるが、焦点が定まらねばモザイクにしか見えない。